

価値創造モデル

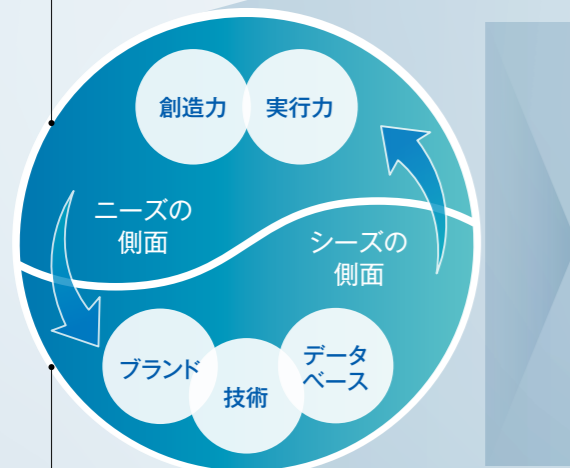
カシオは、独自の強みを融合・進化させながら、潜在ニーズや新たなユーザー体験に着目した価値創造サイクルを回すことで、新たな文化を生み出し、社会に貢献していくことを目指しています。「創造 貢献」を原点とした、こうした文化の創造と維持・発展を続ける活動こそ、カシオの価値創造の姿です。

価値創造の源泉

強い意志をもって新たな価値を生み出そうとする「ニーズの側面」と、長年培ってきた技術、ブランド、データベースといった「シーズの側面」。これらを融合させる力こそ、カシオの独自の強みです。

ニーズの側面

未来を見通し、新たな価値を創造するだけでなく、その価値創出を実行し続けることで、価値は広がり、定着します。時代に合わせて、さまざまなニーズを満たし続けてきたG-SHOCK、各国の教育省や学校・先生と教育メソッドを構築してきた関数電卓の「GAKUHAN」活動がその好例です。



シーズの側面

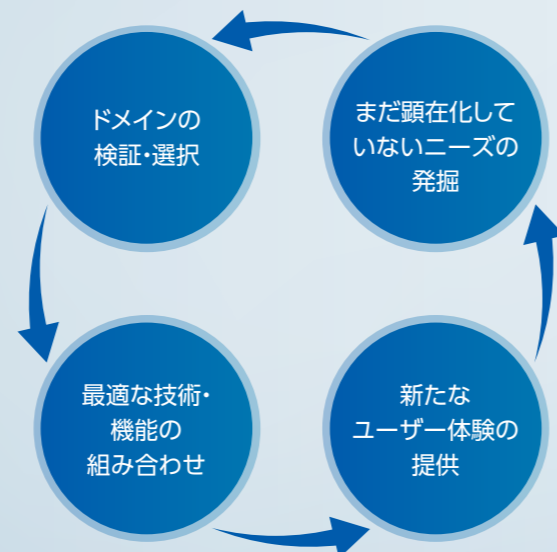
技術 外部との共創も含めデジタル化技術や小型・軽量・薄型・省電力など、時代に対応した技術を継続的に進化 (代表技術 小型・省電力、堅牢性、音源・音響、光源、プリンティング、画像処理、センシング・アルゴリズム)

ブランド 累計1億個以上を販売するG-SHOCKや、世界100カ国で支持される関数電卓など

データベース 事業を通じて蓄積した、ユーザーのさまざまなデータ資産を保有

価値創造サイクル

カシオの事業活動の基点は、まだ顕在化していないニーズを発掘することです。潜在ニーズは無数に存在するため、経営資源の有効性を踏まえながらドメインを検証・選択し、外部パートナーも含め、最適な技術・機能を組み合わせます。これにより新たなユーザー体験として価値提供を実現できるようになり、さらなる潜在ニーズの発掘にもつなげることができます。こうしたサイクルこそ、カシオが価値を生み出すエンジンであると捉えています。



提供価値

新しい文化を創り育てていく

ライフスタイルや趣味・嗜好が多様化する社会において、新たなユーザー体験が価値として享受され、大きな意義をもたらすことができれば、生活に溶け込み、文化として息づきます。そして、その文化を発展させ続けることができれば、人々の暮らしや社会の豊かさに寄与でき、これがさまざまな社会的課題を解決する土壌となります。この創出価値は、まさに「創造 貢献」を原点としたものであり、カシオは、こうした新たな文化の創造を通じた価値創造により、社会への貢献を果たしてまいります。

関連するSDGs

